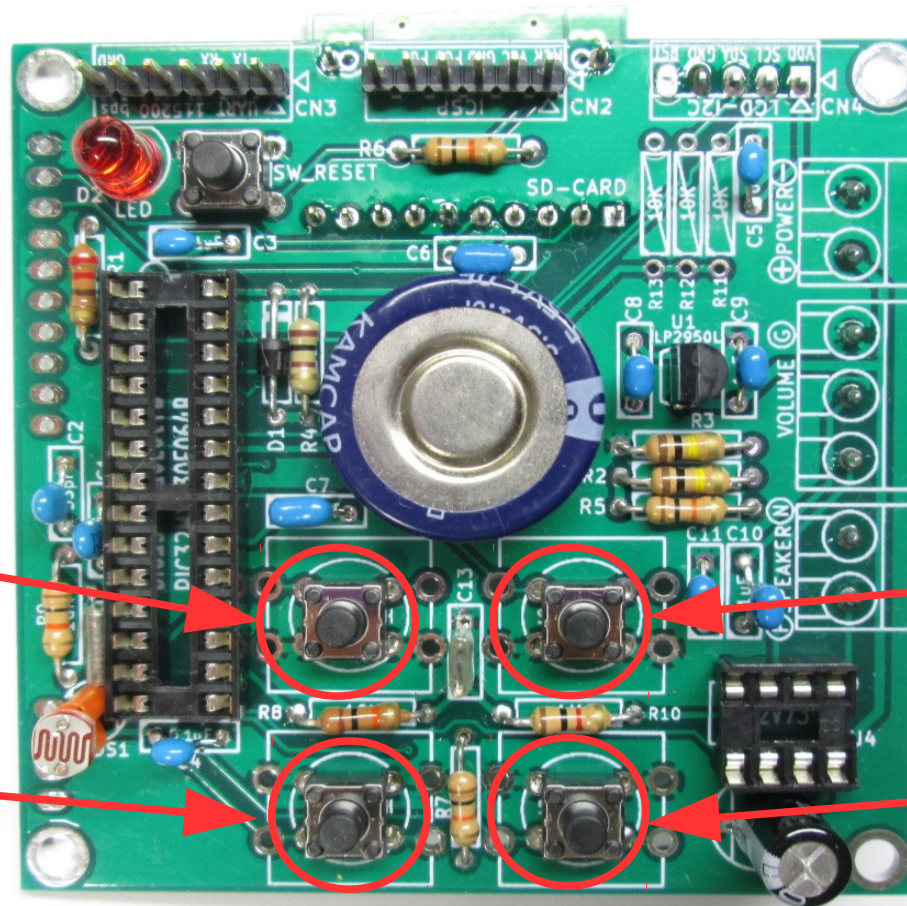


おしゃべり時計操作説明

■ ボタン操作説明

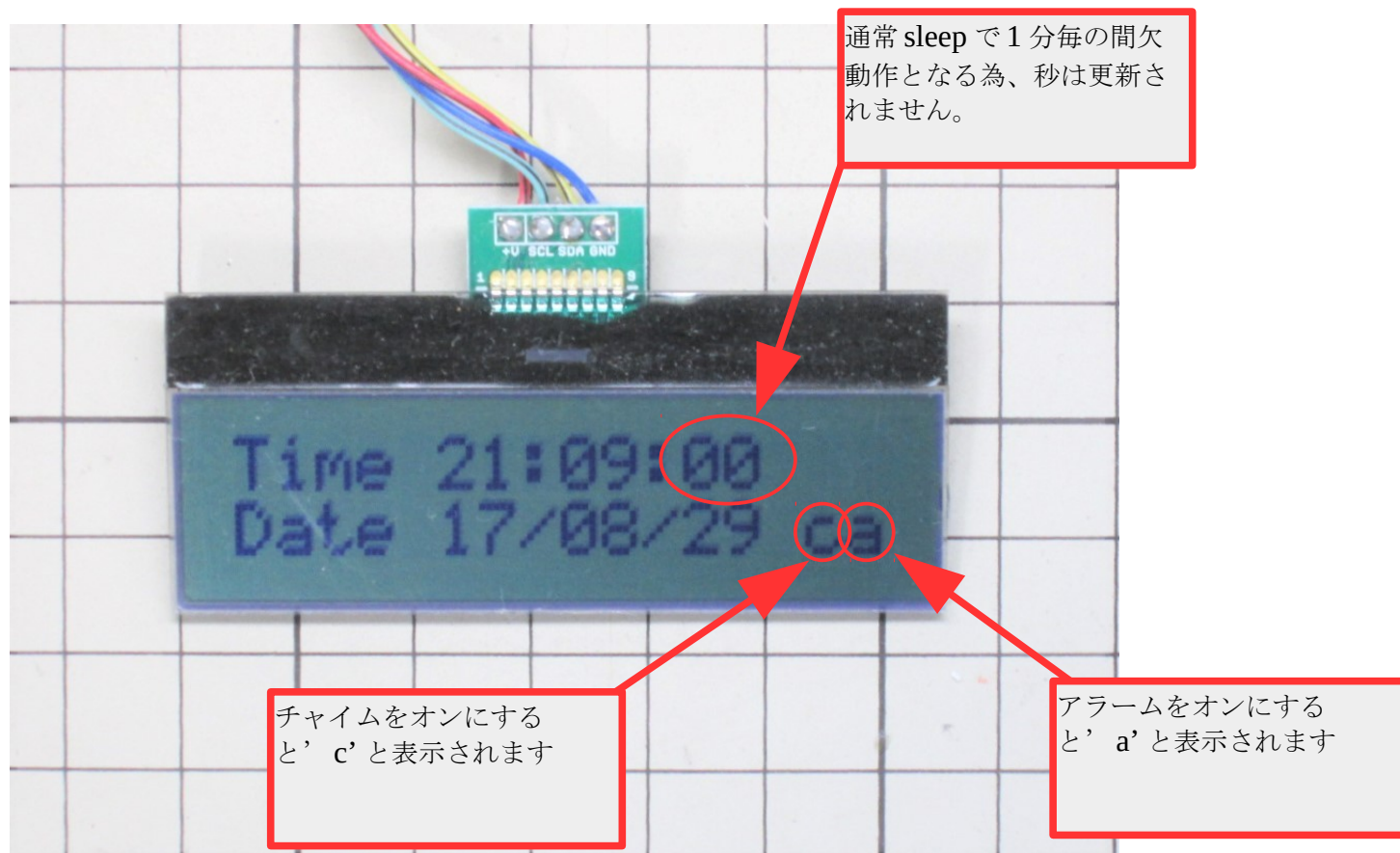
○ メニューセレクト／設定
ボタン

□ キャンセルボタン



△ アップボタン
通常：なし
MENU: メニューを上スクロールします。
時間設定等：時間等をアップします。

▽ ダウンボタン
通常：時刻をしゃべります。
MENU: メニューを下スクロールします。
時間設定等：時間等をダウンします。



1. 通常表示

- 1.1. 通常は時刻と日付を表示しています。CPU はスリープモードになり 1 分毎の間欠動作になります。その為、時刻の更新は 1 分毎になります（秒は” 00”表示となります）。この状態で” ▽” ダウンボタン を押すと、時刻をしゃべります。
- 1.2. ” メニューセレクト／設定ボタン” を押すと、メニュー表示に移ります。

2. メニュー表示

- 2.1. ” Play_Music” 音楽を再生します。再生の順番は、SD カードに登録された順番です。
- 2.2. ” Play_Music_1st” 音楽を 1 曲目から再生します。
- 2.3. ” Alarm_ON” アラームをオンにします。
- 2.4. ” Alarm_OFF” アラームをオフにします。
- 2.5. ” Chime_ON” チャイム（時報）をオンにします。
- 2.6. ” Chime_OFF” チャイム（時報）をオフにします。
- 2.7. ” Night_Sense_ON” 暗闇検知機能をオンにします。（暗闇では時報を発声しません。）
- 2.8. ” Night_Sense_OFF” 暗闇検知機能をオフにします。（暗闇でも時報を発声します。）
- 2.9. ” LCD_Contrast” 液晶のコントラストを調整します。
- 2.10. ” Date_Setup” 日付を設定します。（年下 2 桁、月、日を設定します。）
- 2.11. ” Time_Setup” 時刻を設定します。（時、分、秒を設定します。）
- 2.12. ” Alarm_Setup” アラーム時刻を設定します。（時、分、アラーム再生回数を設定します。）

3. SD カードの設定

3.1. 下記 URL からダウンロードしたファイルの中の”SDCARD”フォルダをマイクロ SD カードに展開してください。

- https://github.com/ClockWorks001/PIC32MX130_SpeakingClock_20170212

3.2. 配置図、マイクロ SD カードに下記のように配置します。

名前	更新日時	種類
Alarm	2017/08/17 23:38	ファイル フォルダー
Effect01	2017/08/14 12:37	ファイル フォルダー
LcdMenu	2017/08/14 21:02	ファイル フォルダー
Music	2017/08/14 12:37	ファイル フォルダー
SpeachNote	2017/08/15 21:56	ファイル フォルダー
TimeWord	2017/08/15 21:57	ファイル フォルダー
Chime.txt	2016/11/13 18:32	TXT ファイル
LCDmenu.txt	2017/08/16 16:36	TXT ファイル
TimeTone.txt	2017/08/14 20:55	TXT ファイル

3.3. ファイル説明。 下記ファイルは必須です。ファイル名は変更できません。

- 3.3.1. Chime.txt チャイム機能が ON の時、リストに記載の時間になると、その行に記載の wav ファイルを再生します。
- 3.3.2. LCDmenu.txt LCD/ボタン操作時の、音声出力リストです。
- 3.3.3. TimeTone.txt ”▽”ダウンボタンを押した時、時分でこのリストを検索し、ヒットした時間の行に記載の wav ファイルを再生します。

3.4. フォルダ説明

- 3.4.1. Alarm アラーム用の wav ファイルを置きます。フォルダ名は変更できません。フォルダには 1 つの wav ファイルのみ置くことができます。
- 3.4.2. Music 音楽用の wav ファイルを置きます。フォルダ名は変更できません。
- 3.4.3. LcdMenu メニュー案内用の wav ファイルを置きます。フォルダ名は、LCDmenu.txt に記載されているフォルダ名です。
- 3.4.4. TimeWord 時間発声用の wav ファイルを置きます。フォルダ名は、TimeTone.txt に記載されているフォルダ名です。
- 3.4.5. Effect01 効果音用の wav ファイルを置きます。フォルダ名は、Chime.txt, TimeTone.txt に記載されているフォルダ名です。
- 3.4.6. SpeachNote 参考資料です。読み上げ原稿が置いてあります。

■ シリアル操作説明

- 1 シリアルのスピード 115.2kbps 電圧 3.3v ※[FTDI USB・シリアル変換ケーブル\(3.3V\)](#) が使用できます。
- 2 ピン配置 1 番ピン (▽マーク = RTS ピン@[FTDI USB・シリアル変換ケーブル\(3.3V\)](#))
- 3 ターミナルの設定 (teraterm 例)
- 4 シリアルメニューへの入り方
 - 4.1 本体のボタン” select” を 1 回押して、sleep モードから抜け、シリアル端末から” ENTER”を 1 回押す。
 - 4.2 シリアル端末から” ENTER”を 3 回以上送信して、5 秒間 sleep モードから抜ける。
- 5 代表的なコマンド
 - 5.1 “?”コマンド一覧
 - 5.2 “fl” ファイル一覧表示
 - 5.3 “wp <No> <path>” <path>中の wave ファイルを<No>を指定して再生。
例>wp 1 /music
 - 5.4 “wd <wordsFileName> <words>” <wordsFileName>テーブルテキストファイルを参照して、<words>で指定した行を再生。
<words>は複数指定可能。
例>wd chime.txt 0000 2300
 - 5.5 . . .